

人事評価記録書様式(幹部職員)

評価期間	年 月 日～	年 月 日	被評価者 職名:	氏名:
------	--------	-------	----------	-----

評価者	職名:	氏名:	評価記入日:	年	月	日
調整者	職名:	氏名:	調整記入日:	年	月	日
実施権者	職名:	氏名:	確認日:	年	月	日

(I 能力評価)

評価項目及び行動
<〇〇> 1
<〇〇> 2
<〇〇> 3
<〇〇> 4
重要マネジメント項目
評価項目及び行動
<〇〇> 5
<〇〇> 6

自己申告 ※重要マネジメント項目に留意

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見)	(所見)
(全体評語)	(全体評語)

備考欄

別紙① 人事評価記録書

評価期間	年	月	日	～	年	月	日
------	---	---	---	---	---	---	---

被評価者	職名:	氏名:
------	-----	-----

評価者	職名:	氏名:	評価記入日:	年	月	日
調整者	職名:	氏名:	調整記入日:	年	月	日
実施権者	職名:	氏名:	確認日:	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

目標・重点課題

自己申告

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見) (全体評語)	(所見) (全体評語)

評価結果の開示希望

希望する	希望しない

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	評価者
1			
2			
3			

【3 全体評語等】

評価者		調整者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

評価結果の開示希望

希望する	希望しない

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	評価者
1			
2			
3			

【3 全体評語等】

評価者		調整者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

評価結果の開示希望

希望する	希望しない

人事評価記録書様式(特別評価)

評価期間	年	月	日	～	年	月	日
------	---	---	---	---	---	---	---

職員	所属:	職名:	氏名:
----	-----	-----	-----

評価者	所属職名:	氏名:	評価記入日:	年	月	日
調整者	所属職名:	氏名:	調整記入日:	年	月	日
実施権者	所属職名:	氏名:	確認日:	年	月	日

(能力評価:〇〇級条件付任用期間中職員)

評価項目及び行動
<〇〇> 1
<〇〇> 2
<〇〇> 3
<〇〇> 4
<〇〇> 5
<〇〇> 6

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見)	(所見)
(全体評語) 「可」 ・ 「不可」	(全体評語) 「可」 ・ 「不可」

評価結果の開示希望

希望する	希望しない

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率
事務次官	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部局を横断する課題や省の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	大局的な視野と将来的な展望に立って、所管行政を推進する。	部局を横断する課題や省の重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、特に重要な課題について、高次元の調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不 断の業務見直しを省内 に徹底する。	強い指導力を発揮し、部局 及び機関の統率を行い、成 果を挙げる。
局長	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、局の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、局の重要課題について基本的な方向性を示す。	局の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、困難な調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不 断の業務見直しに率先 して取り組む。	指導力を発揮し、部下の志 気を高め、組織を牽引し、 成果を挙げる。
部長	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、担当分野の重要課題について基本的な方針を示す。	担当分野の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、局長を助け、困難な調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不 断の業務見直しに率先 して取り組む。	指導力を発揮し、部下の統 率を行い、成果を挙げる。

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

課長級	評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
		業務運営		組織統率・人材育成			
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、課の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、国民の視点に立って、行政課題に対応するための方針を示す。	課の責任者として、適切な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、課の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握 課内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②基本方針・成果の明示 課としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるように関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。
	③本質的課題への挑戦	国家や国民の利益を第一に、国内外の変化を読み取り、前例や常識にとらわれず、大胆な挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明 所管行政について適切な説明を行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	
	④自由な個人の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。	④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。		

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率・人材育成
	国民全体の奉仕者として、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、課題を的確に把握し、施策の企画・立案を行う。	担当業務の責任者として、適切な判断を行う。	担当する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
室長級 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②行政ニーズの反映 行政ニーズや事案における課題を的確に把握し、施策の企画立案や業務上の判断に反映する。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるような関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、担当業務における生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。
		③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明 担当する事案について適切な説明を行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
		④本質的課題への挑戦 国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。
		⑤自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。				

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

		倫理	企画・立案、事務事業の実施	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用
課長補佐級	評価項目	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織や上司の方針に基づいて、施策の企画・立案や事務事業の実施の実務の中核を担う。	自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と粘り強く調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築する。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、実務担当者の中核となって、施策の企画・立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、打つ手を柔軟に変える。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
		③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。	③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張し、粘り強く対応する。	③業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	③多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。	
	④本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。	④自由な個性の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。					

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

評価項目	倫理		課題対応		協調性		説明		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、問題点を的確に把握し、課題に対応する。		上司・部下等と協力的な関係を構築する。		担当する事案について分かりやすい説明を行う。		計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。
係長級 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集	担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者との協力的な関係を構築する。	①説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性	最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②問題点の把握	新しい課題に対して問題点を的確に把握する。	②指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	②相手の話の理解	相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性	ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
			③対応策の検討	問題の本質や原因を探求して、新たな取組への挑戦も含め、対応策を考える。			③多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ	困難な状況においても粘り強く仕事を進める。
			④自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。					④部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。
								⑤本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。	

一般行政：本省内部部局等（特許庁を除く）

評価項目	倫理		知識・技術		コミュニケーション		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技術を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。
係員級 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質が何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。
					⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

一般行政：本省内部部局等（特許庁）

評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率
事務次官	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部局を横断する課題や省の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	大局的な視野と将来的な展望に立って、所管行政を推進する。	部局を横断する課題や省の重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、特に重要な課題について、高次元の調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不断の業務見直しを省内に徹底する。	強い指導力を発揮し、部局及び機関の統率を行い、成果を挙げる。
評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
局長	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、局の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、局の重要課題について基本的な方向性を示す。	局の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、困難な調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	指導力を発揮し、部下の志気を高め、組織を牽引し、成果を挙げる。
評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
部長	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先々を見通しつつ、国民の視点に立って、担当分野の重要課題について基本的な方針を示す。	担当分野の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、局長を助け、困難な調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	指導力を発揮し、部下の統率を行い、成果を挙げる。

課長級	評価項目	倫理		構想		判断		説明・調整		重要マネジメント項目			
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、課の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、国民の視点に立って、行政課題に対応するための方針を示す。		課の責任者として、適切な判断を行う。		所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、関係者と調整を行い、合意を形成する。		業務運営		組織統率・人材育成	
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、課の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。		①状況の構造的把握 課内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ、ユーザーの立場で考えながら最適な選択を行う。		①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。		①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。	
着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、課の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。		①状況の構造的把握 課内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ、ユーザーの立場で考えながら最適な選択を行う。		①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。		①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。	
	②公正性	サービス規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。		②基本方針・成果の明示 課としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②折衝・調整 組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。		②効率的な業務運営 特許庁全体の視野に立ち、限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。		②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。	
		③本質的課題への挑戦 国家や国民の利益、及び、「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、国内外の変化を読み取り、前例や常識にとらわれず、大胆な挑戦や改善を続け、本質的な課題の解決に向けて取り組む。		③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。		③適切な説明 所管行政について適切な説明を行う。		③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。		③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。			
		④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして具体的な方針を示す。				④多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、ユーザーと知財エコシステムを協創するとともに、多様な現場の意見をイノベーションを促進するための政策立案・実現に活かす。				④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮されとともに、部下が能力をかけ合わせ、お互いを高め合うことができる環境を構築する。			

評価項目	倫理	企画・立案、事務事業の実施	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用
	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織や上司の方針に基づいて、施策の企画・立案や事務事業の実施の実務の中核を担う。	自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と粘り強く調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。
課長補佐級 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において課題に対して中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築するとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高めあう。	①段取り 特許庁全体の視野に立ち、業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
	②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、実務担当者の中核となって、施策の企画・立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断 担当する事案について、ユーザーの立場で考えながら適切な判断を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、打つ手を柔軟に変える。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイスやフィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
	③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。	③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。		③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はふれずに主張し、粘り強く対応する。	③業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方を見直しなど業務の改善に取り組む。	③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。
	④本質的課題への挑戦 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。	④本質的課題への挑戦 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。		④多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、ユーザーと知財エコシステムを協創するとともに、多様な現場の意見をイノベーションを促進するための政策立案・実現に活かす。		
	⑤自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして具体的な企画立案につなげる。	⑤自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして具体的な企画立案につなげる。				

	評価項目	倫理	課題対応	協調性	説明	業務遂行
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、問題点を的確に把握し、課題に対応する。	上司・部下等と協力的な関係を構築する。	担当する事案について分かりやすい説明を行う。	計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。
係長級	着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者や協力的な関係を構築するとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め生産性高く仕事に取り組む。
		②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②問題点の把握 新しい課題に対して問題点を的確に把握する。	②指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
		③対応策の検討 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、問題の本質や原因を探索し、前例こだわらず改善を続ける。	③自由な個の力の発揮 新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者との議論に積極的に参加し、プロフェッショナルとして主体的に行動する。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾けるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	
						④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。
係員級	評価項目	倫理	知識・技術	コミュニケーション	業務遂行	
係員級	着眼点	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	業務に必要な知識・技術を習得する。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	意欲的に業務に取り組む。	
		①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。	
		②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達 情報を正確に伝達する。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。	
		③自由な個の力の発揮 新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。	③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をするとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	③迅速な作業 生産性を意識しながら迅速な作業を行う。		
					④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	
⑤多様な主体との連携によるイノベーションの促進 現場に積極的に出向き、特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	⑤本質的課題への挑戦 特許庁全体の視野に立ち、担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。					

一般行政：施設等機関等（経済産業研修所）

所長	評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
						業務運営	組織統率
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	本省の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。	機関の責任者として、豊富な知識・経験に基づき、適切な判断を行う。	機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	不断の業務見直しに率先して取り組む。	指導力を発揮し、組織統率を行い、成果を挙げる。
課長	評価項目	倫理	実施施策の立案	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
						業務運営	組織統率・人材育成
		国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針に基づき、行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。	所管する事案について、適切な判断を行う。	所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
	着眼点	<p>①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値観を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。</p> <p>②行政ニーズの反映 行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。</p> <p>③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。</p> <p>④本質的課題への挑戦 国内外への変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。</p> <p>⑤自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。</p>	<p>①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。</p> <p>②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。</p> <p>③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。</p>	<p>①信頼関係の構築 他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築する。</p> <p>②折衝・調整 組織方針を実現できるように関係者と折衝・調整を行う。</p> <p>③適切な説明 担当する事案について適切な説明を行う。</p> <p>④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。</p>	<p>①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。</p> <p>②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、担当業務における生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。</p> <p>③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。</p>	<p>①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。</p> <p>②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。</p> <p>③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。</p> <p>④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。</p>

一般行政：施設等機関等（経済産業研修所）

		倫理	方策・計画の立案、事務事業の実施	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用	
評価項目		国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。	自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。	
	課長補佐 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値観を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁のカウンターパートと信頼関係を構築する。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、実務担当者の中核となって、施策の企画・立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、打つ手を柔軟に変える。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
				③成果認識 成果のイメージを明確に持ち、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。		③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張し、粘り強く対応する。	③業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。
				④本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		
		⑤自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。						

一般行政：施設等機関等（経済産業研修所）

評価項目	倫理		課題対応		協調性		説明		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。		上司・部下等と協力的な関係を構築する。		担当する事案について分かりやすい説明を行う。		計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。
係長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集	担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者との協力的な関係を構築する。	①説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性	最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める、生産性高く仕事に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②問題点の把握	新しい課題に対して問題点を的確に把握する。	②指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	②相手の話の理解	相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性	ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
			③対応策の検討	問題の本質や原因を探求して、新たな取組への挑戦も含め、対応策を考える。			③多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ	困難な状況においても粘り強く仕事を進める。
			④自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。					④部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイス、フィードバックを与え、問題があるときは適切に指導する。
								⑤本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。	
評価項目	倫理		知識・技術		コミュニケーション				業務遂行	
	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技術を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。				意欲的に業務に取り組む。	
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。		
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。		
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。		
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。		
				⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。			

研修・教育：施設等機関等（経済産業研修所）

評価項目	倫理		講義・指導・企画・立案		判断		調整		重要マネジメント項目			
									業務運営	組織統率・人材育成		
	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当科目の講義・指導に必要な知識・技術及び豊富な経験に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行うとともに、本省等の方針及び業務に対するニーズを踏まえ、研修・教育カリキュラムを編成する。		担当分野の責任者として、適切な判断を行う。		円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	
部長	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当分野の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・情報収集	業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①最適な選択	採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築	関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。	①トラブル対応	問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。	①体制整備	円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②講義・指導	知識・技術及び豊富な経験に基づき講義計画を立案し、適切に講義・指導を行う。	②適時の判断	事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整	円滑に業務が遂行できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営	限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。
着眼点			③ニーズの反映	業務に求められるニーズを的確に把握し、組織（部門）としての方針に反映させる。			③多様な主体との連携	内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を研修・教育カリキュラムに活かす。	③業務量の調整	業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援	部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
			④企画・立案	部門全体の研修・教育カリキュラムを適切に策定する。							④多様な人材の活躍支援	出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。
			⑤本質的課題への挑戦	新たな取組への着手を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。								
			⑥自由な個の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。								

研修・教育：施設等機関等（経済産業研修所）

		倫理	講義・指導	コミュニケーション		業務遂行			
教官	評価項目	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当科目の講義・指導に必要な知識・技術に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行う。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。			
	着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・技術の向上	担当科目にかかる知識や技術を向上させる。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①効率的な業務運営	効率的に業務を進める。
		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②講義計画の策定	知識・技術に基づき担当科目にかかる講義計画を適切に策定する。	②指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	②段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。
				③講義・指導の実施	受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。	③説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	③本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。
		④自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。	④多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。				
		倫理	講義・指導	コミュニケーション		業務遂行			
教育補助員	評価項目	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当業務に必要な知識・技術を習得し、教官を助け、適切に講義・指導を行う。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。			
	着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・技術の向上	担当科目にかかる知識や技術を習得する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②講義・指導の実施	教官を助け、受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。
				③自由な個の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

一般行政：部等設置広域管轄機関（経済産業局）

局長	評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
						業務運営	組織統率
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	本省の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方向性を示す。	機関の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、困難な調整を行い、合意を形成する。	国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	指導力を発揮し、組織統率を行い、成果を挙げる。
部長	評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
						業務運営	組織統率
		国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の方針を示す。	部の責任者として、適切な判断を行う。	部の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、局長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	管轄する組織の業務運営に関し、的確な指示を行うとともに、部下を統率し、成果を挙げる。
着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、部の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握 部内の情報の中核として、複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②基本方針・成果の明示 部としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②統率 管轄する組織全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。
			③本質的課題への挑戦 本省から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明 部の業務について適切な説明を行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。
			④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		

一般行政：部等設置広域管轄機関（経済産業局）

評価項目	倫理	実施施策の立案		判断		説明・調整		重要マネジメント項目		
		業務運営		組織統率・人材育成						
	国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。		所管する事案について、適切な判断を行う。		所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
課長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、所管する業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①行政ニーズの把握 地域の行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。	①柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。				
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な実施施策を立案する。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を完遂に導き、成果を挙げる。				
		③本質的課題への挑戦 国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。	④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。	③上部機関との連携 本省の担当者と日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。				
		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。						

一般行政：部等設置広域管轄機関（経済産業局）

評価項目	倫理		方策・計画の立案、事務事業の実施		判断		説明・調整		業務遂行		部下の育成・活用	
	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。											
課長補佐 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において課題に対して中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識・情報収集	業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識	自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築	他部局や他省庁の担当者と信頼関係を構築する。	①段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り	部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施	事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断	担当する事案について適切な判断を行う。	②説明	論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②業務改善	作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②部下の育成	部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
			③本質的課題への挑戦	担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。			③交渉	相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張する。				③多様な人材の活躍支援
		④自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。			④多様な主体との連携	内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。					

一般行政：部等設置広域管轄機関（経済産業局）

		倫理	課題対応	協調性		説明		業務遂行	
係長 着眼点	評価項目	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。	上司・部下等と協力的な関係を構築する。		担当する事案について分かりやすい説明を行う。		計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者との協力的な関係を構築する。	①説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性	最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②対応策の検討 担当する業務の課題に対して問題の本質や原因を探索して、新たな取組への挑戦も含め、対応策を考える。	②指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	②相手の話の理解	相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性	ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せずに提案を行う。			③多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ	困難な状況においても粘り強く仕事を進める。
								④部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
								⑤本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。

一般行政：部等設置広域管轄機関（経済産業局）

評価項目	倫理		知識・技術		コミュニケーション		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技術を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。
					⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

一般行政：その他の機関①（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項イ機関）（通商事務所）

		倫理	事案対応	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用
課長補佐	評価項目	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	十分な知識・技術及び経験に基づき、担当する事案に適切に対応する。	自ら進めるべき業務の執行において、適切な判断を行う。	担当する業務の執行において論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①調整 関係機関等の担当者との調整を円滑に行う。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②困難・特殊事案への対応 高いレベルの知識・技術や経験を基に、困難な事案や特殊事例にも対応する。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②協働性 関係機関・関係団体の関係者と連携して業務に取り組む。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
	④本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。	⑤自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。	③多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。			

一般行政：その他の機関①（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項イ機関）（通商事務所）

評価項目	倫理		事案対応		協調性		説明		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当業務についての知識・技術に基づき、事案に適切に対応する。		上司・部下等と協力的な関係を構築する。		担当する業務の執行において分かりやすい説明を行う。		計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。
係長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集	担当業務における知識・技術の向上・情報収集を行う。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①外部説明	具体的に分かりやすく説明する。	①計画性	最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②適切な判断	適切な判断材料を収集し、合理的な判断を下す。	②協働性	関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②相手の話の理解	相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性	ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。			③多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ	困難な状況においても粘り強く仕事を進める。
									④部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
									⑤本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。
評価項目	倫理		知識・技術		コミュニケーション				業務遂行	
	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技術を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。				意欲的に業務に取り組む。	
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。		①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。	
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。		②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。	
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。		③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。	
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。		④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。	
					⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。		⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。	

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部倉））

評価項目	倫理	構想	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率
	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	本省の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。	機関の責任者として、適切な判断を行う。	機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	不断の業務見直しに率先して取り組む。	組織統率を行い、成果を挙げる。
所長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、所管する業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握 部内の情報の中枢として、複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②基本方針・成果の明示 部としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②統率 管轄する組織全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。
	③本質的課題への挑戦	③本質的課題への挑戦 本省から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明 部の業務について適切な説明を行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。
	④自由な個人の発揮	④自由な個人の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部倉））

評価項目	倫理		構想		判断		説明・調整		重要マネジメント項目			
									業務運営	組織統率		
	国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		組織方針に基づき、地域情勢を踏まえた実施施策の大枠を示す。		所長を助ける者として、適切な判断を行う。		機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、所長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		組織の業務運営に関し、所長を助け、的確な指示を行い、成果を挙げる。	
次長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、部の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握	部内の情報の中枢として、複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択	採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築	円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性	先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備	管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②基本方針・成果の明示	部としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断	事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整	組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営	限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②統率	管轄する組織全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。
			③本質的課題への挑戦	本省から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③リスク対応	状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明	部の業務について適切な説明を行う。	③業務量の調整	業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。
			④自由な個の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。			④多様な主体との連携	内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。				

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部含））

評価項目	倫理	実施施策の立案	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率・人材育成
	国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。	所管する事案について、適切な判断を行う。	所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
課長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、所管する業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①行政ニーズの把握 地域の行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備 円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な企画や方策を立案する。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。
		③本質的課題への挑戦 国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。		③上部機関との連携 本省の担当者と日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
		④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部含））

		倫理	方策・計画の立案、事務事業の実施	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用
課長補佐 着眼点	評価項目	国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。	自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において課題に対して中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁の担当者と信頼関係を構築する。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
			③本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。		③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張する。		③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。
		④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。			

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部含））

		倫理	課題対応	協調性	説明	業務遂行	
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。	上司・部下等と協力的な関係を構築する。	担当する事案について分かりやすい説明を行う。	計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	
	係長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者や協力的な関係を構築する。	①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。	
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。	②協働性 関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう担当業務全体作業のチェックを行う。	
			③自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。		③多様な主体との連携 関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	
				④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。	⑤本質的課題への挑戦 担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。		

一般行政・広域管轄機関（産業保安監督部（支部含））

		倫理	知識・技術	コミュニケーション		業務遂行	
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	業務に必要な知識・技術を習得する。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。	
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。		
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達 情報を正確に伝達する。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。		
	着眼点		③自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業 生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。		
				④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。		
			⑤多様な主体との連携 政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦 業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。			

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

評価項目	倫理		構想		判断		説明・調整		重要マネジメント項目			
									業務運営		組織統率	
	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。		機関の責任者として、適切な判断を行う。		機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。		不断の業務見直しに率先して取り組む。		組織統率を行い、成果を挙げる。	
所長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、機関の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握	所内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択	採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築	円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性	先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備	業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②業務方針・成果の明示	業務運営の基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断	事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整	組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営	限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②統率	組織全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。
			③本質的課題への挑戦	本省から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③リスク対応	状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明	機関の業務について適切な説明を行う。	③業務量の調整	機関全体の業務の優先順位を意識し、状況の変化に対応するため、大所高所から廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。
			④自由な個の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。			④多様な主体との連携	内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。				

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

評価項目	倫理	実施方針の立案	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率
	国民全体の奉仕者として、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえた実施方針を示す。	担当分野の責任者として、適切な判断を行う。	担当分野の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、所長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務の進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げる。
部長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当分野の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①状況の構造的把握 部内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。	①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②実施方針・成果の明示 部としての実施方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 実施方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。
		③本質的課題への挑戦 国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	③適切な説明 担当分野の業務について適切な説明を行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整す。	
		④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。			④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

評価項目	倫理	実施計画の立案		判断		説明・調整		重要マネジメント項目		
		業務運営		組織統率・人材育成						
	国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施計画を立案する。		所管する事案について、適切な判断を行う。		所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
課長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。	①行政ニーズの把握 住民ニーズや事案における課題を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。	①柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。				
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②計画の策定 部長の方針を受け、業務の実施計画を策定する。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を完遂に導き、成果を挙げる。				
		③本質的課題への挑戦 国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、新たな取組への着手も含め、その課題解決に向けて取り組む。	③上部機関との連携 管区機関の担当者と日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。					
	④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。	④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。	④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。							

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

評価項目	倫理		方策・計画の立案、事務事業の実施		判断		説明・調整		業務遂行		部下の育成・活用	
		国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。		自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。		担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。		段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。		部下の指導、育成及び活用を行う。
課長補佐 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において課題に対して中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識情報収集	業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識	自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねるものの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築	他部局や他省庁の担当者と信頼関係を構築する。	①段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り	部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施	事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断	担当する事案について適切な判断を行う。	②説明	論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②業務改善	作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②部下の育成	部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
			③本質的課題への挑戦	担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。			③調整	担当する事案について関係者と調整を行う。				③多様な人材の活躍支援
		④自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。			④多様な主体との連携	内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。					

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

		倫理	課題対応	協調性	説明	業務遂行	
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。	上司・部下等と協力的な関係を構築する。	担当する事案について分かりやすい説明を行う。	計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	
	係長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。	
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②対応策の検討 担当する業務の課題に対して、問題の本質や原因を探索して、新たな取組への挑戦も含め、対応策を考える。	②協働性 関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。	
			③自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。		③多様な主体との連携 関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	
				④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	⑤本質的課題への挑戦 担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。		

一般行政・都府県管轄機関（那覇産業保安監督事務所）

評価項目	倫理	知識・技術	コミュニケーション		業務遂行			
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	業務に必要な知識・技術を習得する。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。		
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。
					⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

一般行政・その他の機関③（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項ハ機関） 産業保安監督署（釧路・北陸）

評価項目	倫理	事案対応	判断	説明・調整	重要マネジメント項目	
					業務運営	組織統率・人材育成
	国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	的確に状況を把握し、困難な事案に適切に対応する。	機関の責任者として、適切な判断を行う。	機関の業務について適切な説明を行うとともに、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務の執行方針を徹底し、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
署長 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、所管する業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①行政ニーズの把握 住民ニーズや事案における課題を的確に把握する。	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。	①柔軟性 緊急時、見通しが変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②計画の策定 部長の方針を受け、業務の実施計画を策定する。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を完遂に導き、成果を上げる。
		③本質的課題への挑戦 部長から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦を含め、本質的な課題の解決に向けて取り組む。		③上部機関との連携 管区機関の担当者と日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め、業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
		④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な方針を示す。		④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外に幅広くネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		④多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮される環境を構築する。

一般行政・その他の機関③（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項ハ機関） 産業保安監督署（釧路・北陸）

		倫理	事案対応	判断	説明・調整	業務遂行	部下の育成・活用
評価項目 署長補佐 着眼点		国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	十分な知識・技術及び経験に基づき、担当する事案に適切に対応する。	自ら進めるべき業務の執行において、適切な判断を行う。	担当する業務の執行において論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の第一線において課題に対して中長期的な視点から責任を持って課題に取り組む。	①知識情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。	①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。	①信頼関係の構築 他部局や他省庁の担当者との信頼関係を構築する。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進めることで、チームの生産性を向上させる。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷、仕事と生活の両立に関する意向を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
		③本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。			③調整 担当する事案について関係者と調整を行う。		③多様な人材の活躍支援 出向者等も含めて、様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。
		④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。			④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かす。		

一般行政・その他の機関③（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項ハ機関） 産業保安監督署（釧路・北陸）

評価項目	倫理		事案対応		協調性		説明		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当業務についての知識・技術に基づき、事案に適切に対応する。		上司・部下等と協力的な関係を構築する。		担当する業務の執行において分かりやすい説明を行う。		計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。
係長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識・情報収集	担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①計画性	最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進め生産性高く仕事に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②対応策の検討	担当する業務の課題に対して、問題の本質や原因を探索して、新たな取組への挑戦も含め、対応策を考える。	②協働性	関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②相手の話の理解	相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	②正確性	ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、臆せず提案を行う。			③多様な主体との連携	関係部局にネットワークを広げ、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	③粘り強さ	困難な状況においても粘り強く仕事を進める。
								④部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	
								⑤本質的課題への挑戦	担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。	

一般行政・その他の機関③（標準的な官職を定める政令に規定する内閣官房令で定める標準的な官職等を定める内閣官房令第1条第7項ハ機関） 産業保安監督署（釧路・北陸）

評価項目	倫理		知識・技術		コミュニケーション		業務遂行	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技術を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①情報の整理	情報や資料を分かりやすく分類・整理する。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性	自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②知識習得	業務に必要な知識を身に付ける。	②情報の伝達	情報を正確に伝達する。	②正確性	ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
			③自由な個の力の発揮	自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	③誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	③迅速な作業	生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。
					④上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ	失敗や困難にめげずに仕事を進める。
					⑤多様な主体との連携	政策の現場に積極的に出向き、内外の多様な関係者の意見に耳を傾ける。	⑤本質的課題への挑戦	業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

医療・行政機関（矯正収容施設を除く）・本省

		倫理	知識・技術・診療	信頼関係の構築	患者等への説明・指導	部下の育成・活用	
医 長	評価項目	医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。	上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。	患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	着眼点	①責任感	医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。	①適切な診断 医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診断を行う。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。	①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。
		②公正性	服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	②適切な治療 困難な症例について、診断結果に基づき適切な治療を行う。	②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。
				③知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。			
医 師	評価項目	医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		医学的知識・技術に基づき、適切な診療を行う。	上司・同僚等と協力的な関係を構築する。	患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	
	着眼点	①責任感	医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。	①適切な診断 医学的知識・技術に基づき、適切な診断を行う。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。	①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。	
		②公正性	服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	②適切な治療 診断結果に基づき適切な治療を行う。	②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。	
				③知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。	③上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。		

調剤・行政機関・本省

		倫理	知識・技術・業務遂行		コミュニケーション		患者等への説明・指導		
薬 劑 師	評価項目	薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		薬剤に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。	
	着眼点	①責任感	薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。	①適切な業務遂行	専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。	①協調性	上司・部下や他部局等の担当者との協力的な関係を構築する。	①役割認識	患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。
	②公正性	服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	②知識・技術の向上	自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。	②説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	②説明・指導	説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。	
					③上司への報告	問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。			

その他医療技術・行政機関・本省

		倫理	知識・技術・業務遂行	コミュニケーション	患者等への説明・指導
技師	評価項目	医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	医療技術に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。
	着眼点	①責任感 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	①適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。 ②知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。	①協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。 ②上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。 ②説明・指導 説明する相手方に対応した説明・指導を適切に行う。

看護・行政機関・本省

		倫理	知識・技術・業務遂行	信頼関係の構築	患者等への説明・指導	部下の育成・活用
看護師長	評価項目	看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	看護に関する業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	部下の指導、育成及び活用を行う。
	着眼点	①責任感 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。 ②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者と協力的な関係を構築する。 ②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。 ②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。	①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。 ②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。
看護師	評価項目	看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	看護に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。	上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。	
	着眼点	①責任感 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	①適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。 ②知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。	①協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。 ②上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。 ②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。	

行（二）技能・労務／行政機関及／本省・経済産業局

評価項目	倫理		知識・技能・業務遂行		協調性		業務管理	
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		担当業務についての知識・技能及び経験に基づき、的確に業務を遂行する。		部下等と協力的な関係を構築する。		適切に作業の割り振りを行い、効率的に業務を進めるとともに、部下等に対する指導又は関係者との適切な連絡調整を行う。
職長 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。	①高度な知識・技能	高いレベルの知識・技能や経験を有し、困難な事案や特殊事例にも対応する。	①円滑な調整	部下や関係者と円滑なコミュニケーションを行う。	①段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②課題把握	課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。	②誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	②業務改善	効率的な業務執行を行う。
							③正確・迅速	正確・迅速に業務を行う。
							④業務配分	職員等の配置・作業の割り振りを行う。
							⑤指導・育成	部下を指導・育成する。
評価項目	倫理		知識・技能		コミュニケーション		業務遂行	
	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に必要な知識・技能を習得する。		上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		意欲的に業務に取り組む。	
係員 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。	①知識・技能の向上	業務を通じ、知識・技能を向上させる。	①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。	①正確さ	正確に業務を行う。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②情報収集	業務に関係する情報を収集・整理する。	②誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。	②迅速さ	迅速に業務を行う。
							③期限遵守	指示され又は定められた期限を遵守する。
							④積極性	自分の仕事の範囲に限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。

専門スタッフ職・政策企画立案等支援／行政機関／本省（特許庁を除く）

		倫理	情報の収集	知識・技術	助言・提言・調整	業務遂行
評価項目	高度分析交渉官 着眼点	国民全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、責任を持って重要課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針の実現に向け、特定の行政分野において重要な関係にある者等との信頼関係を構築し、連携を確保した上で、質の高い情報を収集する。	特定の行政分野の重要課題について、極めて高度な専門的知識及び豊富な経験等に基づき、困難な調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。	特定の行政分野の重要課題について、的確な助言・提言や必要となる困難な調整等を行うことにより、部局を横断する重要課題等に係る政策の企画・立案等を支援する。	コスト意識を持って効率的に業務を遂行する。
		①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の重要課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、重要な関係にある者等と日ごろから信頼関係を構築する。	①高度な知識・経験 極めて高度な専門的知識や豊富な経験を有し、困難な事案や特殊事例にも対応する。	①助言・提言 特定の行政分野の重要課題について、調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、的確な助言・提言を行う。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②情報の収集 重要課題に関する質の高い情報の収集・整理を行う。	②分析 困難な調査、研究、分析等を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるよう、重要な関係にある者等と困難な折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 業務の目的と求められる成果水準を踏まえ、時間や労力の面から効率的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。
				③本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。	③企画立案等の支援 部局を横断する重要課題等に係る施策の企画・立案等に関し、的確な支援を行う。	
		④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。	④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かすよう支援する。			

専門スタッフ職・政策企画立案等支援／行政機関／本省（特許庁を除く）

		倫理	知識・技術	助言・提言	業務遂行
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	特定の行政分野における高度な専門的知識及び経験に基づき、調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。	調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言等を行い、施策の企画・立案等を支援する。	段取りや手順を整え、効率的に業務を遂行する。
	分析官 着眼点	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・経験 特定の行政分野における高度な専門的知識や経験を有し、事案に対応する。	①助言・提言 担当する行政分野にの本質的な課題について、調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言を行う。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて生産性高く仕事を進める。
		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②分析 調査、研究、情報を収集し、合理的な分析を行う。	②企画立案等の支援 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、施策の企画・立案等に関し、適切な支援を行う。	②効率的な業務運営 業務の目的と求められる成果水準を踏まえ、効率的に業務を進めることで、チームの生産性を向上させる。
			③本質的課題への挑戦 担当する業務における本質的な課題を把握し、その課題解決に向けて取り組む。	③多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かすよう支援する。	
	④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら様々な関係者と議論を行い、具体的な企画・立案につなげる。				

専門スタッフ職・政策企画立案等支援／行政機関／本省（特許庁）

		倫理	情報の収集	知識・技術	助言・提言・調整	業務遂行
評価項目	高度分析交渉官	国民全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、責任を持って重要課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	組織方針の実現に向け、特定の行政分野において重要な関係にある者等との信頼関係を構築し、連携を確保した上で、質の高い情報を収集する。	特定の行政分野の重要課題について、極めて高度な専門的知識及び豊富な経験等に基づき、困難な調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。	特定の行政分野の重要課題について、的確な助言・提言や必要となる困難な調整等を行うことにより、部局を横断する重要課題等に係る政策の企画・立案等を支援する。	コスト意識を持って効率的に業務を遂行する。
		①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理観を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の重要課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、重要な関係にある者等と日ごろから信頼関係を構築する。	①高度な知識・経験 極めて高度な専門的知識や豊富な経験を有し、困難な事案や特殊事例にも対応する。	①助言・提言 特定の行政分野の重要課題について、調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、的確な助言・提言を行う。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。
		②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②情報の収集 重要課題に関する質の高い情報の収集・整理を行う。	②分析 困難な調査、研究、分析等を行う。	②折衝・調整 組織方針を実現できるよう、重要な関係にある者等と困難な折衝・調整を行う。	②効率的な業務運営 業務の目的と求められる成果水準を踏まえ、時間や労力の面から効率的に業務を進め、生産性高く仕事に取り組む。
				③本質的課題への挑戦 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。	③企画立案等の支援 部局を横断する重要課題等に係る施策の企画・立案等に関し、的確な支援を行う。	
		④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。	④多様な主体との連携 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げ、多様な現場の意見を政策立案・実施に活かすよう支援する。			

専門スタッフ職・政策企画立案等支援／行政機関／本省（特許庁）

		倫理	知識・技術	助言・提言	業務遂行
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	特定の行政分野における高度な専門的知識及び経験に基づき、調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。	調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言等を行い、施策の企画・立案等を支援する。	段取りや手順を整え、効率的に業務を遂行する。
	分析官	①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識・経験 特定の行政分野における高度な専門的知識や経験を有し、事案に対応する。	①助言・提言 担当する行政分野の本質的な課題について、調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言を行う。	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて生産性高く仕事を進める。
		②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②分析 調査、研究、情報を収集し、合理的な分析を行う。	②企画立案等の支援 内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、施策の企画・立案等に関し、適切な支援を行う。	②効率的な業務運営 特許庁全体の視野に立ち業務の目的と求められる成果水準を踏まえ、効率的に業務を進めることで、チームの生産性を向上させる。
着眼点		③本質的課題への挑戦 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こたわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて省内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。		
			④自由な個の力の発揮 自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。		

審査官／特許・審査／特許庁

評価項目	倫理	業務計画の立案	適切な審査の実施の確保	重要マネジメント項目	
				業務運営	組織統率・人材育成
	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	業務に対するニーズを踏まえ、課題を的確に把握し、審査に関する業務計画の立案を行う。	審査業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、適切な審査の実施を確保する。	コスト意識を持って効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
着 眼 点	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①基本方針・成果の明示 審査を取り巻く国内外の状況を的確に把握し、新たな取組への挑戦も含め、課としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	①業務計画の着実な実施 業務計画の着実な実施を図るため、審査処理の進捗状況や出願、請求の状況等を踏まえ、適切な対応を行う。	①先見性 先々で起こり得る事態を予測して対策を想定するなど、先を読みながら業務を進める。	①業務の割当て 業務の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②立案 行政ニーズや事案における課題を的確に把握し、ユーザーの立場で考えつつ、業務計画の企画立案や業務上の判断に反映する。	②品質の確保 決裁や協議または統計的手法等を用いて、審査の品質状況を把握し、法令が適切に適用されているか等の観点から審査の品質の確保を行う。	②効率的な業務運営 特許庁全体の視野に立ち、限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。
		③本質的課題への挑戦 国家や国民の利益、及び、「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、国内外の変化を読み取り、前例や常識にとらわれず、大胆な挑戦や改善を続け、本質的な課題の解決に向けて取り組む。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて特許庁内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③業務量の調整 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め業務量を適切に調整する。	③部下の主体的な成長支援 部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
		④自由な個の力の発揮 時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。			④多様な人材の活躍支援 部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮されるとともに、部下が能力を掛け合わせ、お互いを高め合うことができる環境を構築する。

審査官／特許・審査／特許庁

評価項目	倫理		業務計画の立案		適切な審査の実施の確保		重要マネジメント項目			
							業務運営	組織統率・人材育成		
	国民全体の奉仕者として、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		業務に対するニーズを踏まえ、課題を的確に把握し、審査長を助けて審査に関する業務計画の立案を行う。		審査業務についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、適切な審査の実施を確保する。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	
審査監理官	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①基本方針・成果の明示	審査を取り巻く国内外の状況を的確に把握し、新たな取組への挑戦も含め、課室としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	①業務計画の着実な実施	業務計画の着実な実施を図るため、審査処理の進捗状況や出願、請求の状況等を踏まえ、適切な対応を行う。	①先見性	先々で起こり得る事態を予測して対策を想定するなど、先を読みながらのごとく(施策等)を進める。	①業務の割当て	業務の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②立案	行政ニーズや事案における課題を的確に把握し、ユーザーの立場で考えつつ、業務計画の企画立案や業務上の判断に反映する。	②品質の確保	決裁や協議または統計的手法等を用いて、審査の品質状況を把握し、法令が適切に適用されているか等の観点から審査の品質の確保を行う。	②効率的な業務運営	特許庁全体の視野に立ち、限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、担当業務における生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。
	着眼点		③本質的課題への挑戦	「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、国内外の変化を読み取り、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず、新たな取組への着手や改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進	特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて特許庁内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③業務量の調整	業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③部下の主体的な成長支援	部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
			④自由な個の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。					④多様な人材の活躍支援	部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮されるとともに、部下が能力を掛け合わせ、お互いを高め合うことができる環境を構築する。

審査官／特許・審査／特許庁

		倫理	知識・技術・判断	信頼関係の構築、説明	業務遂行	業務管理・人材育成
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	出願内容を十分に理解し、審査業務についての専門的知識・技術、経験及び関連分野に関して収集した情報に基づき、困難な事案について、特許権等を付与すべきか適切な判断を行う。	上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築するとともに、困難な事案についても、出願人に対して論理的な説明を行う。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上で、部下の指導、育成及び活用を行う。
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識の習得 困難な事案に適用できる程度に、関連法令や審査基準、担当分野の技術など、業務上必要な知識を身に付ける。	①信頼関係の構築 上司・部下・関係部署等と信頼関係を構築するとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	①実行力 特許庁全体の視野に立ち、全体の目標達成に向けて、困難な案件でも率先して迅速、的確に処理することで、チームの生産性を向上させる。	①業務の調整 課室内で業務調整、期間管理等を行って、全体で目標の達成を促進する。
着視点	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②出願内容の適切な理解 困難な事案について出願内容、意見書等を適切に理解する。	②説明 困難な事案についても、論点やポイントを明確にすることにより、出願人に対して論理的な説明をする。	②業務改善 従来の審査手法や進捗管理の問題点を把握し、改善の工夫をする。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
	③適切なサーチ	困難な事案について担当分野、関連技術分野を適切にサーチする	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて特許庁内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。		③多様な人材の活躍支援 様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。	
	④適切な判断・起案	困難な事案について適切な判断、起案をする。				
	⑤本質的課題への挑戦	「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。				
⑥自由な個の力の発揮	新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。					

審査官／特許・審査／特許庁

		倫理	知識・技術・判断	協調性	説明	業務遂行
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	出願内容を十分に理解し、審査業務についての専門的知識・技術及び関連分野に関して収集した情報に基づき、自ら処理すべき事案について、特許権等を付与すべきか適切な判断を行う。	上司・部下等と協力的な関係を構築する。	出願人と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明を行う。	法令や執行方針に基づき、計画的に業務を遂行する。
	審査官	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識の習得 通常的事案に適用できる程度に、関連法令や審査基準、担当分野の技術など、業務上必要な知識を身に付ける。	①協調性 上司・部下や他部局等の担当者との協力的な関係を構築するとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	①実行力 求められる目標を自覚し、目標達成に向けて迅速・的確なサーチ・審査を工夫し、生産性高く仕事に取り組む。
着眼点	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②出願内容の適切な理解 通常的事案について出願内容、意見書等を適切に理解する。	②指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解し、業務に反映する。	②理解 出願人の意見等を正しく理解して説明を行う	②部下の育成 指導審査官または先輩として、後輩の指導、相談を行う。
		③適切なサーチ	通常的事案について担当分野、関連技術分野を適切にサーチする		③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外にネットワークを広げ、特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③本質的課題への挑戦 特許庁全体の視野に立ち、担当業務における本質を自らが主体的に考え、自分の仕事の範囲を限定することなく、新たな取組にも積極的に挑戦しながら、業務を遂行する。
		④適切な判断・起案	通常的事案について適切な判断、起案をする。			
		⑤対応策の検討	「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、問題の本質や原因を探求し、前例こだわらず改善を続ける。			
	⑥自由な個の力の発揮	新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者との議論に積極的に参加し、プロフェッショナルとして主体的に行動する。				

審査官／特許・審査／特許庁

評価項目		倫理	知識・技術	コミュニケーション	業務遂行
		国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	審査業務に必要な知識・技術を習得する。	上司・同僚や出願人と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	意欲的に業務に取り組む。
審査官補 着眼点	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識の習得 指導審査官の指導の下、通常の事案に適用できる程度に、関連法令や審査基準、担当分野の技術など、業務上必要な知識を身に付ける。	①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導をその本質は何かを含めて正しく理解する。	①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務(新規な技術分野の担当等)に積極的に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②出願内容の適切な理解 指導審査官の指導の下、通常の事案について出願内容、意見書等を適切に理解する。	②情報の伝達 情報を正確に伝達する。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
			③適切なサーチ 指導審査官の指導の下、通常の事案について担当分野、関連技術分野を適切にサーチする	③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をするとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	③迅速な作業 生産性を意識しながら、迅速な作業を行う。
			④適切な判断・起案 指導審査官の指導の下、通常の事案について適切な判断、起案をする。	④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。
			⑤自由な個の力の発揮 新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を高めながら、積極的に議論に参加し、自らの意見を述べる。	⑤多様な主体との連携によるイノベーションの促進 現場に積極的に向き、特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	⑤本質的課題への挑戦 特許庁全体の視野に立ち、業務の本質を自らが主体的に考え、積極的に対応策を考え、業務に取り組む。

※ 「技術」等、特許・実用新案に特化するような文言は、意匠、商標のそれに対応する文言に適宜読み替えるものとする。

審判官／特許・審判／特許庁

評価項目	倫理		知識・技術・判断		適正な審理		重要マネジメント項目			
							業務運営	組織統率・人材育成		
	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		審判についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、審判に関する責任者として、審判請求事案について適切な判断を行い、審決書等を作成する。		審判請求人等の主張を十分に考慮し、適正な審理を進める。		コスト意識を持って効率的に業務を進める。		適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	
着眼点 審判長	①責任感	国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識の習得	訴訟事件や複雑かつ困難な事案を含めたいかなる事案にも対応できる程度に、関連法令や基準、重要な審判決、担当分野の技術及び業務上必要な知識を身に付けている。	①合議・口頭審理の指揮	審判請求人の主張を十分に考慮し、適正な判断を下すよう合議を指揮する。特に、口頭審理においては、当事者の議論を整理し、判断に必要な発言を引き出すよう適正な指揮をする。	①先見性	先々で起こり得る事態を予測して対策を想定するなど、先を読みながら業務を進める。	①業務の割当て	業務の重要性や部下の役割・能力・状況、仕事と生活の両立に関する意向を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。
	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②適切な理解	訴訟事件や複雑かつ困難な事案を含めたいかなる事案についても、事案の経緯、背景等を踏まえて、当事者の主張を含めた事案の全体像を十分に理解している。	②訴訟事件への対応	過去の判例などの豊富な知識・経験に基づき、審決の判断の理由や正当性について分析し、今後の原告の対応なども予測した上で、訴訟戦略を立てる。また、それに基づいて準備書面の作成方針を決定する。	②効率的な業務運営	特許庁全体の視野に立ち、限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、チームの生産性向上を強く意識し、効率的に業務を進める。	②意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、的確な指示を行うことにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。
			③適切な判断	訴訟事件や複雑かつ困難な事案を含めたいかなる事案についても、争点を過不足なく抽出し、的確な優先順位を付け、正確な判断を行う。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進	特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて特許庁内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③業務計画の着実な実施	部門の業務計画を策定・補佐し、部門の業務計画を達成するために、進捗状況を的確に把握し指導・助言する。	③部下の主体的な成長支援	部下に一定の裁量を与え、主体性を尊重しながら自由闊達な議論を推奨するとともに、適切な指導やフィードバックを行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
			④審決書・準備書面等の作成	合議の結論に基づき、判断の理由等を迅速・的確にまとめ、ユーザーの立場で考えつつ、当事者及び請求人を納得させる起案をする。裁判所に対する準備書面等の作成においても、審決の判断の理由や正当性などについて、裁判所及び当事者を納得させる起案をする。			④業務量の調整	業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進め業務量を適切に調整する。	④多様な人材の活躍支援	部下の多様なバックグラウンドを生かし、それぞれの希望する働き方も尊重しながら、個人の能力が十分に発揮されとともに、部下が能力を掛け合わせ、お互いを高め合うことができる環境を構築する。
			⑤本質的課題への挑戦	国家や国民の利益、及び、「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、国内外の変化を読み取り、前例や常識にとらわれず、大胆な挑戦や改善を続け、本質的な課題の解決に向けて取り組む。						
			⑥自由な個の力の発揮	時代の変化に対応できるよう、新たな技術・知識を常に学び取り入れながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。						

審判官／特許・審判／特許庁

		倫理	知識・技術・判断	適正な審理	業務遂行	業務管理・人材育成
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	審判についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、審判請求事案について適切な判断を行い、審決書等を作成する。	審判請求人等の主張を十分に考慮し、適正な審理を進める。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	適切に業務を配分した上で、部下の指導、育成及び活用を行う。
		①責任感 国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、担当業務の課題に中長期的な視点から責任を持って取り組む。	①知識の習得 訴訟事件や困難な事案にも対応できる程度に、関連法令や基準、重要な審判、担当分野の技術及び業務上必要な知識を身に付けている。	①合議への対応 必要に応じて適切な意見などを述べることで、合議が一面的、一方的な議論にならないよう配慮するとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。	①実行力 特許庁全体の視野に立ち、全体の目標達成に向けて、困難な案件でも率先して迅速、的確に処理することで、チームの生産性を向上させる。	①業務の調整 全体の目標達成を促進するため、部門内で業務調整、期間管理等を行う。
上級審判官		②公正性 服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②適切な理解 訴訟事件や困難な事案についても、事案の経緯・背景等を踏まえて、当事者の主張を含めた事案の全体像を十分に理解している。	②訴訟事件への対応 参考となる判決等を引用しつつ、事件の経緯、原告の主張を整理し、審判の判断の理由や正当性について分析し、準備書面の作成方針案を提案する。	②業務改善 従来の審理手法や進捗管理の問題点を把握し、改善の工夫をする。	②部下の育成 部下の育成のため、適切な裁量を与えながら自由闊達な議論を行い、的確な指示やアドバイス、フィードバックを行い、問題があるときは適切に指導する。
			③適切な判断 訴訟事件や困難な事案についても、争点を過不足なく抽出し、的確な優先順位を付け、正確な判断を行う。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けながら、組織を超えて特許庁内外にネットワークを広げるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③業務上の要請への対応 期待される業務を計画的に進めるとともに、業務計画の実施に問題を抱える他の審判官に対し、問題の解決に向けて助言・サポートをする。	③多様な人材の活躍支援 様々な部下の能力が十分に発揮される環境を構築する。
着眼点			④審決書・準備書面等の作成 合議の結論に基づき、判断の理由等を迅速・的確にまとめ、ユーザーの立場で考えつつ、当事者及び請求人を納得させる起案をする。裁判所に対する準備書面等の作成においても、審判の判断の理由や正当性などについて、裁判所及び当事者を納得させる起案をする。			
			⑤本質的課題への挑戦 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。			
			⑥自由な個の力の発揮 新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を常に高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者と議論を行い、プロフェッショナルとして主体的に行動する。			

審判官／特許・審判／特許庁

		倫理	知識・技術・判断	適正な審理	業務遂行
評価項目		国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	審判についての専門的知識・技術及び経験に基づき、審判請求事案について適切な判断を行い、審決書等を作成する。	審判請求人等の主張を十分に考慮し、適正な審理を進める。	段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。
	①責任感	国民全体の奉仕者として、組織全体の使命や重視する価値を意識しながら、責任を持って業務に取り組む。	①知識の習得 事案に関連する、関連法令や基準、重要な審判決、担当分野の技術及び業務上必要な知識を身に付けている。	①合議への対応 合議の前に争点や想定される質問について整理した結果に基づいて、簡潔で分かりやすい説明をするとともに、多様な個性を尊重し、かけ合わせ、お互いを高め合う。また、必要に応じて意見などを述べる。	①実行力 特許庁全体の視野に立ち、全体の目標達成に向けて、困難な案件でも率先して迅速、的確に処理することで、チームの生産性を向上させる。
審判官	②公正性	服務規律を遵守し、透明性をもって、公正、公平に職務を遂行する。	②適切な理解 事案について、経緯・背景等を踏まえて、当事者の主張を含めた事案の全体像を十分に理解している。	②訴訟事件への対応 事件の経緯、原告の主張を整理し、審決の判断の理由や正当性について分析し、準備書面の作成方針案を提案する。	②業務改善 従来の審理手法や進捗管理の問題点を把握し、改善の工夫をする。
	着眼点		③適切な判断 事案について、争点を過不足なく抽出し、的確な優先順位を付け、正確な判断を行う。	③多様な主体との連携によるイノベーションの促進 特許庁内外にネットワークを広げ、特許庁内外の多様な関係者の意見に耳を傾けるとともに、ユーザーと知財エコシステムを協創し、イノベーションを促進する。	③業務上の要請への対応 業務計画の着実な実施を困難にする事情などが生じた場合には速やかに上司に相談し、適宜対策を講じ、自身の目標を計画的に進める。
			④審決書・準備書面等の作成 合議の結論に基づき、判断の理由等を迅速・的確にまとめ、ユーザーの立場で考えつつ、当事者及び請求人を納得させる起案をする。裁判所に対する準備書面等の作成においても、審決の判断の理由や正当性などについて、裁判所及び当事者を納得させる起案をする。		
			⑤対応策の検討 「知」が尊重され一人ひとりが創造力を発揮したくなる社会の実現のため、担当する業務における本質的な課題を把握し、前例こだわらず改善を続け、その課題解決に向けて取り組む。		
			⑥自由な個の力の発揮 新たな技術・知識を常に学び取り入れて自らの知見や専門性を高めながら、ユーザーを含めた様々な関係者との議論に積極的に参加し、プロフェッショナルとして主体的に行動する。		

※ 「技術」等、特許・実用新案に特化するような文言は、意匠、商標のそれに対応する文言に適宜読み替えるものとする。

評語等の解説

【能力評価】

◇ 全体評語(幹部職員) (次官級)

甲	:	当該職位として求められる能力が発揮されている状況である。
乙	:	当該職位の求められる能力が一部しか、又は、ほとんど発揮されていない状況である。

(次官級を除く)

A	:	当該職位として優秀な能力発揮状況である。
B	:	当該職位として求められる能力が発揮されている状況である。
C	:	当該職位の求められる能力が一部しか、又は、ほとんど発揮されていない状況である。

◇ 全体評語(課長級以下)

卓越して優秀	:	望ましい行動を上回る行動が常に確実にとられ、又は大きく上回る行動がとられており、当該職位として卓越して優秀な能力発揮状況である。 ＜別格の特別な能力の高さを持っており、他の職員が真似できないレベル。特に顕著な成果・貢献等が期待できるレベル。＞
非常に優秀	:	望ましい行動を上回る行動が頻繁にとられており、当該職位として非常に優秀な能力発揮状況である。 ＜他の職員の模範(ロールモデル)であり、具体的な行動を学んだり模倣したりする対象となる人材レベル。極めて高い成果・貢献等が期待できるレベル。＞
優良	:	望ましい行動がとられており、かつ、しばしば望ましい行動を上回る行動も見られており、当該職位として優良な能力発揮状況である。 ＜主体的に仕事に取り組み、高い視野で物事の勘所を理解して段取りよく動き、高い水準の成果・貢献等が期待できるレベル。＞
良好	:	望ましい行動が基本的にとられており、当該職位として良好な能力発揮状況である。 ＜職位に応じた仕事は過不足なくこなせるレベル。更なる伸びしろも認められる。＞
やや不十分	:	望ましい行動がとられないことがやや多く、当該職位として十分な能力発揮状況とはいえ、改善が必要である(1回のこの評価のみでは、当該職位の職務を遂行するために求められる能力を発揮していないとまではいえない。)
不十分	:	望ましい行動がとられておらず、当該職位に必要な能力発揮状況でなく、大きく改善が必要である(当該職位の職務を遂行するために求められる能力の発揮の程度に達しておらず、降任等を検討するレベルである。)

◇ 個別評語(評価項目及び行動ごとの評語)(課長級以下)

<倫理以外>

卓越して優秀	:	望ましい行動を上回る行動が常に確実にとられ、又は大きく上回る行動がとられていた。
非常に優秀	:	望ましい行動を上回る行動が頻繁にとられていた。
優良	:	望ましい行動がとられており、かつ、しばしば望ましい行動を上回る行動も見られた。
良好	:	望ましい行動が基本的にとられていた。
やや不十分	:	望ましい行動がとられないことがやや多かった。
不十分	:	望ましい行動が全くとられていなかった。

<倫理>

◎	:	望ましい行動がとられており、他の職員の模範となるような状況であった。
○	:	望ましい行動が基本的にとられていた。
△	:	望ましい行動がとられないことがやや多かった、又は全くとられていなかった。

【特別評価】

◇ 全体評語

可	:	「不可」には該当しない状態である。
不可	:	望ましい行動がほとんどとられておらず、当該職位に必要な能力発揮状況でない。(当該職位の職務を遂行するために求められる能力の発揮の程度に達していない。)

【業績評価】

◇ 全体評語(幹部職員)
(次官級)

甲	:	今期当該ポストに求められた役割を果たした。
乙	:	今期当該ポストに求められた役割を一部しか、又は、ほとんど果たしていなかった。

(次官級を除く)

A	:	今期当該ポストに求められた以上の役割を果たした。
B	:	今期当該ポストに求められた役割を果たした。
C	:	今期当該ポストに求められた役割を一部しか、又は、ほとんど果たしていなかった。

◇ 全体評語(課長級以下)

卓越して優秀	:	今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、極めて重要又は困難な課題について、まれにみる顕著な成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準をはるかに上回る、他の職員では果たし得ない卓越した役割を果たした。
非常に優秀	:	今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、特に重要又は困難な課題について、非常に大きな成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準を大きく上回る役割を果たした。
優良	:	今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、しばしば期待を上回る成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準以上の役割を果たした。
良好	:	基本的に、今期当該ポストに求められた水準の成果や貢献等を期待どおりあげ、求められた役割を果たした。
やや不十分	:	今期当該ポストに求められた水準を下回る成果や貢献等であり、求められた役割を果たしていなかった(1回のこの評価のみでは当該ポストに求められる役割を果たしていないとまではいえない。)
不十分	:	今期当該ポストに求められた成果や貢献等がほとんどなく、求められた役割を果たしていなかった(当該ポストに求められた役割を果たしておらず、降任等を検討するレベルである。)

◇ 困難度(課長級以下)

5	:	当該職位にある者全てには期待することが特に困難と思われる目標
4	:	当該職位にある者全てには期待することが困難と思われる目標
3	:	当該職位にある者であれば達成可能と思われる目標
2	:	当該職位にある者であれば達成することが容易であると思われる目標
1	:	当該職位にある者であれば達成することが特に容易であると思われる目標
注) 「困難度」は主として目標ごとの評価において考慮するものとする。		

◇ 重要度(課長級以下)

◎	:	重要度が特に高いと思われる目標
○	:	重要度が高いと思われる目標
△	:	重要度が低いと思われる目標
—	:	◎○△のいずれにも該当しないもの。
注) 「重要度」は主として全体評価において考慮するものとする。重要度の決定は、業務上に占めるウエイトの軽重による。		

◇ 個別評語(業務目標ごとの評語)(課長級以下)

卓越して優秀	:	目標を達成し、期待をはるかに上回る、まれにみる顕著な成果をあげ、又は貢献等をした。
非常に優秀	:	目標を達成し、期待を大きく上回る、非常に大きな成果をあげ、又は貢献等をした。
優良	:	目標を達成し、期待を上回る成果をあげ、又は貢献等をした。
良好	:	目標を達成し、期待どおりの成果や貢献等であった。
やや不十分	:	目標の達成が不十分であり、期待された水準を下回る成果や貢献等であった。
不十分	:	目標を達成できず、成果や貢献等がほとんどなかった。
(※) ・「貢献等」:組織として成果を挙げるに当たったの貢献(周囲に対する支援等の自主的・積極的な取組等)、業務遂行に当たったの創意工夫、効率的な業務遂行等 ・目標の達成状況等が被評価者に起因しない事由により影響を受けている場合には、その事由を適切に勘案するなど、職務遂行の過程も考慮に入れて評価。 ・特に困難度の高い目標については、未達成であることのみをもって低い評価とせず、達成状況や貢献等の水準を適切に勘案。		